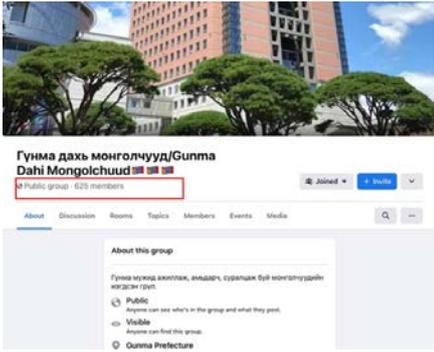


## 令和3年度「社会貢献促進セミナー」の紹介 Social Contribution Facilitation Seminar

群馬大学大学院医学系研究科医科学専攻では、大学院生の必修科目として「社会貢献促進セミナー」を行っています。平成 16 年から始まった取り組みで、社会貢献に関する課題(プログラム)を大学院生自らが設定したり、あるいは群馬県庁からご提案頂いたプログラムを実践したりして、社会貢献への理解を深めています。今年度は 23 のプログラムを 41 名の大学院生が実践しましたので、その内容をご紹介します。

No	プログラム名	人数	内容
1	老年病予防講座	1	2021 年 8 月 29 日に茨城県に在住の 60～80 代の男女 8 人に対し、近年の基礎研究の視点から明らかになってきた老化現象メカニズムについてパワーポイントを用いた講義を行った。加えて、参加者全員に老化に関する悩みについて 5 分間のスピーチを行っていただき、討論を行った。
2	メディカルインタープリター養成講座*	1	医療通訳ボランティア養成セミナーで、医療知識に関する講演を行った。本活動の社会的意義は医療通訳者に必要な医学的知識についての講義を行い、それらを医療通訳の実務で活かしていただき、外国から来た方々の健康や生命を守る役割を一緒に担っていただくということにある。
3	群馬大学公開講座ぐんま県民カレッジ連携講座	4	<p>群馬大学公開講座「重粒子線がん治療について」(オンライン開催)の中で使用する、「重粒子線治療施設バーチャルツアー」と題した動画を作成した。今回の動画が、重粒子線治療について理解を深めるための一助となったのではと思われた。</p> <p>We created virtual tour video of Gunma University Heavy Ion Medical Center (GHMC) as a part of educational lecture for local community. The aim of this lecture/ program is to educate local community regarding treatment process and research in heavy ion radiotherapy.</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">熱さや痛みは感じない      重粒子を光速の70%まで加速</p>
4	健康登山塾 2021	2	<p>2021/10/16 に開催された、日本山岳会群馬支部主催、群馬大学医学部附属病院後援の健康登山塾 2021 に、医療・救護スタッフとして参加した。救護袋をもって一般参加者とともに登山を行い、適宜声掛けや誘導を行って事故の防止に努めた。幸い深刻な傷病者は出なかった。参加者は健康登山塾を通して、健康増進や登山力の強化が期待される。</p> <p>健康登山塾は登山を通して日頃から健康な体づくりに励むことをコンセプトとし</p>

			た社会貢献プログラムである。一般市民が塾生として参加するこの活動は、参加者の健康度を更に上げるきっかけとなることが期待される。今回、医療スタッフとして健康登山塾 2021 に参加しプログラム運営の補助を行った。
5	児童への運動指 森(特別講師)	1	足立区教育委員会と連携し、体力・運動機能向上を目指した特別授業を区内全小中学校で実施するべく、2021 年度は国内 12 校で、ボールを使った巧緻性運動やゲーム運動など、運動の素養となる体力と技能の習熟を目指した効果的で楽しい授業を実施した。 
6	2021 年度検査と 健康展	1	日本臨床検査技師会の活動として全国で行っている検査と健康展は、臨床検査とそれを担う臨床検査技師のことを一般の方へ知っていただくための活動として開催している。ご年配の方やご家族連れをはじめ、高校生など若い世代の方にもご来場いただき、地域の健康意識の向上だけでなく臨床検査の啓蒙活動として大きな価値のあるイベントとなった。
7	子宮頸がん啓発 講演会*	1	前橋市内の学校に出向き、1 時間程度の講演で子宮頸がんとはどういうものかを知ってもらい、また予防方法として検診の重要性について理解してもらうプログラムである。
8	病院外・病院前 での妊産婦救急 事例を想定したト レーニングコース *	1	群馬全域の救急医療に関わる救急救命士・救急医・救急看護師に対し、病院前周産期救急についてのトレーニングコースを開催した。救急医療現場における分娩介助・児娩出後の処置・肩甲難産に対する対処、新生児蘇生、女性傷病者への対処・搬送施設の選定について講義し、救急車内を模した状況での分娩対応についてシミュレーションを実施した。また、群馬県で起きた実際の周産期救急事例を用いて検討会を行った。
9	さわやか群馬リ ーダー養成セミ ナー	2	このセミナーでは毎年医療、栄養管理、行政など様々なジャンルから講師を招聘し、社会の健康づくり活動の推進役となるリーダーを育成すべく総合的な学習機会を提供しようとするものである。今回私はそのセミナーにおいて、高齢者に多い脳卒中に関する情報を提供し、健康への関心を高めるよう講義を行った。
10	群馬県利根郡地 域における市民 向け医療情報誌 を利用した「頭 頸部癌」について の情報の普及	1	頭頸部癌に関する正しい知識の普及・啓蒙を目的とし、群馬県利根郡地域で市民向けに発行される医療情報誌に記事を掲載した。

11	<p>高校生のための医学セミナー*</p>	7	<p>高校生に向けた医学セミナーとして、1・2年生の希望者に向けて、講演を行った。医学部の様子や医師としての生活、自分の高校生の頃の経験を基にした受験のアドバイスなどに関して述べた。後輩たちから、実際の医師の生活やライフプランに関して積極的な質問があった。</p> <p>医師もしくは医療系に興味のある高校1年生と2年生が対象であり、医師のキャリア形成や業務内容、自身の医学部受験体験に関して講演した。少しでも多くの高校生に医師の魅力が伝わり、医師を志してもらえるような内容に努めた。</p> 
12	<p>行政情報・生活情報等の各国言語への翻訳及び周知*</p>	5	<p>We translated the useful information about the COVID-19 vaccination. We are trying to support people living in Gunma (especially those who come from foreign countries) to make their life safer and comfortable.</p> 
13	<p>ハマポノ 2021</p>	1	<p>横浜市内の地域住民で運営する交流施設の活性化を目的にヨコハマプロボノを通じた活動支援を行った。今回のプロジェクト参加により、コロナ禍で減った利用者の復帰、運営者の販促活動に少しでも貢献できればと思った。</p>
14	<p>やさしい日本語勉強会</p>	1	<p>人種および世代や分野を超えて助け合う災害に強い町づくりに取り組むことが目的である。緊急時でも言語マイノリティの方が理解しやすい「やさしい日本語」について世代およびバックグラウンドが異なる方々と意見交換を行った。言葉の面からサポートするための意見交換が活発に行われ、また災害時、滞りない避難経路を考えるため、地域の洪水ハザードマップを閲覧、Google Earthと照らし合わせることで理解を深めた。</p>
15	<p>障害児早期療育事業(マザー&amp;チャイルド)*</p>	1	<p>障害児早期療養事業(マザー&amp;チャイルド)は市町村の母子保健事業と連携し、遊びを中心とした集団活動での経過観察や相談援助・助言等を行い、児童の発達の状況を適切に把握し支援するとともに、家族の不安解消を図る事業である。集団療育の様子を観察し医学的な面からのフィードバックを行ったり、療育事業への参加の経験を生かし、療育を意識した診療や医学教育を行うことで患者や社会に還元を行った。</p>

16	県営コロナワクチン接種事業への協賛	1	2019 年末より世界的な流行を続けている新型コロナウイルス感染症について、各国は感染防止のために都市のロックダウンや外出の抑制など、様々な対応を強いられている。現在新型コロナウイルスの感染拡大を抑える方法として、新型コロナウイルスに対するワクチンの接種が進められている。今回は私は、県の運営するコロナワクチンの大規模接種事業に参加し、その円滑な進行に貢献してきた。
17	糖尿病教室	1	群馬大学医学部附属病院内で糖尿病患者様向けに週 2~3 回開催されている「糖尿病教室」に講師として参加した。現在コロナ禍ということもあり人数制限をかけた中での開催であったが、直接患者様から疑問点や糖尿病治療を受ける上での感想を伺うことができた。
18	3 歳児歯科検診	1	三歳児検診は満 4 歳になる幼児を対象に、各自治体で実施される健康診査事業である。三歳は幼児期の中でも、身体発育・精神発達だけでなく、自我の芽生えや生活習慣の確立などにより、社会性が急速に発達する時期である。従って、多角的な健康診査を行い、異常の早期発見・治療に繋げる重要な検診である。歯科医師は歯科を通じて、健全な成長発達を支援していく役割がある。健全な幼児を支援していくことは社会貢献に繋がると考える。
19	シャルコー・マリー・トウス病患者会 オンライン	1	遺伝性の末梢神経障害である Charcot-Marie-Tooth 病の患者会 (CMT 友の会) は、「ピアサポート」を中心理念において活動している患者会である。当事者やそのご家族だけでなく、最新の治療法やリハビリテーションについて、医師をはじめとした医療従事者の専門家なども参加しており大変貴重な会であった。
20	「耳の日」相談会	1	毎年 3 月 3 日は「耳の日」として全国各地で一般市民に向けて、耳にまつわる相談会や講演が行なわれている。群馬でも難聴や補聴器に関する無料相談会が開催されており、今回相談員側として参加してきた。普段の診療とは異なるフランクな形式で相談や意見を交わすことができ、参加された市民の方々との交流を深め、耳鼻咽喉科という科をより身近に感じて頂けたと感じた。
21	群馬乾癬友の会 学習懇談会	1	からっ風の会は平成 19 年に県内の乾癬患者を中心に設立された患者会である。令和 3 年 10 月 9 日に開催された乾癬オンライン学習会に医師パネリストとして出席し、群馬大学皮膚科の先生の講演の後、Q&A セッションにて患者からの質疑に回答し、意見を交換した。
22	全国高校野球選手権県予選メディカルサポート	4	第 103 回全国高等学校野球選手権群馬大会にメディカルスタッフとして参加したが、普段の診療とは異なる役割が要求されることが多いが、急病者の救急搬送などにも立ち会った。毎年参加しているがこれからも参加を続けていきたい。
23	「脳とところから見た With/Post コロナ時代のニューノーマルの課題と展望」の運営	1	2021 年 6/20(日)、27(日)に日本学術会議・臨床医学委員会脳とところ分科会が主催する公開シンポジウム「脳とところから見た With/Post コロナ時代のニューノーマルの課題と展望」の運営に参加した。

\*: 群馬県庁から提供されたプログラム